

第44回住総研シンポジウム

東日本大震災復興支援事業

住まいを受け継ぐ 社会のしくみ

受け継がれる住まい
vol.3

2016年**3月4日**(金)

甲子園会館見学会 11:00 ~ 12:00

講演会 13:30 ~ 17:00

会場：**武庫川女子大学甲子園会館**

旧甲子園ホテル (遠藤新設計)

兵庫県西宮市戸崎町 1-13

参加費：見学会 500円 (一般・学生共)

講演会 一般 1,000円 学生 500円

参加費はすべて東日本大震災復興義捐金として被災地にお送り致します。

定員：見学会 20名 講演会 100名 (共に先着順)

講演 **内田青蔵 / 村川夏子 / 近角真一 / 高田光雄 / 木下壽子 / 小林秀樹**
(コーディネーター)

残したい・残すべき、あるいは、住みたい・再利用したいといった様々な思いがあっても、実現することなく取り壊されてきた様々な住まいがあった。その原因は様々だが、同時に、そうした建物をしっかりと受け継ぐことを実現できるシステムがなかったことも大きな原因であった。例えば、イギリスではナショナルトラストという団体があり、建築はもとより自然環境まで保護し維持している。わが国にも日本ナショナルトラストという支部組織があるが、残念ながらまだ市民権を得ておらず、その活動も及ばないのが実情といえる。

こうしたシステム不足から、近年、様々な団体がこうした建物を受け継ぐための活動を開始し、また、社会の重要なシステムへと発展させようという試みが活発化している。そこで、今回は、こうした活動を行っている人々から、具体的な活動内容などをご報告いただきながらそうしたシステムの紹介をしていただき、併せて、社会のしくみとしての継承のシステム—制度—の必要性を考える場としたい。

内田 青蔵 (神奈川大学教授 / 受け継がれる住まい調査研究委員会委員長)

主催 一般財団法人住総研

講演

見学会・趣旨：内田 青蔵（神奈川大学 教授）

講演：村川 夏子（村川堅固氏令孫）築百年の木造建築村川堅固邸

近角 真一（（株）集工舎建築都市デザイン研究所 代表取締役）求道会館・求道学舎の保存と再生

高田 光雄（京都大学 教授）堀川団地の保存と再生

木下 壽子（一般社団法人住宅遺産トラスト 理事）ストック社会における建築社会システム

コーディネーター：小林 秀樹（千葉大学 教授）

経歴

内田 青蔵

神奈川大学工学部建築学科 教授

1953 年秋田県生まれ。75 年神奈川大学工学部建築学科卒業、1983 年東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻博士課程満期退学。工学博士。2009 年より現職。1994 年日本建築学会奨励賞（論文）受賞、2004 年日本生活学会今和次郎賞受賞。2012 年日本生活文化史学会賞受賞。専門は日本近代住宅史。2011 年より住総研研究運営委員会委員。主な著書に『お屋敷散歩』河出書房新社（2011）、『図説・近代日本住宅史 新版』鹿島出版会（2008）*共著、『間取り』で楽しむ住宅読本』光文社（2005）、『同潤会に学べ』王国社（2004）など、また、監修として『近代日本生活基本文献集』日本図書センター（2012）など。

高田 光雄

京都大学大学院工学研究科 教授

1951 年京都市生まれ。2003 年より現職。専門は、建築計画学、居住空間学。居住文化を育む住まい・まちづくりの実践的研究を継続。（公社）都市住宅学会会長、京都府・京都市の建築審査会会長、京都府・大阪府・京都市・大阪市の住宅（まちづくり）審議会会長、平成の京町家コンソーシアム会長、京町家継承ネット代表、堀川団地まちづくり懇話会座長などを務める。共編著書に『木の住まい』『少子高齢時代の都市住宅』『マネジメント時代の建築企画』など。計画作品に、『実験集合住宅 NEXT21』『平成の京町家 東山八坂通』『ふれっくすコート吉田』『アーバネックス三条』など。日本建築学会賞、日本建築学会作品選奨、都市住宅学会賞、日本建築士会連合会賞など受賞。

村川 夏子

村川堅固氏令孫

1991 年相続で村川家住宅継承。1998 年村川家住宅が国登録有形文化財になり、歴史的建造物所有者の会の幹事役を務める。主な著作に、『明治後期から昭和期までの村川堅固邸及び別荘に関する調査研究』『住総研研究論文集』No.39（2013、共著）、『我孫子市史 近現代篇』我孫子市教育委員会（2004、共著）など。

木下 壽子

一般社団法人住宅遺産トラスト 理事

1969 年兵庫県神戸市生まれ。1993 年日本女子大学家政学部住居学科卒業。1995 年芝浦工業大学大学院修士課程修了。1996 年ロンドン大学大学院修士課程修了。1996-97 年ロータリー財団国際親善奨学生としてグラスゴー大学マッキントッシュ建築学校修士課程在籍。1997 年～2000 年、A+U エディトリアル・アソシエイト。2000 年～2005 年東京大学大学院博士課程松村研究室在籍。東京理科大学、東京電機大学非常勤講師を経て、2006 年有限会社コミュニティー・ハウジング設立。2013 年（一社）住宅遺産トラスト理事就任。主な著書に『20 世紀のモダン・ハウスー理想の実現』（エーアンドユー、2000）。

近角 真一

（株）集工舎建築都市デザイン研究所 代表取締役

1947 年北海道生まれ。1971 年東京大学工学部建築学科卒業、内井昭蔵建築設計事務所入所。1979 年近角建築設計事務所入所。1985 年集工舎建築都市デザイン研究所設立。2007 年都市住宅学会賞業績賞受賞（求道学舎リノベーション）。2008 年日本建築学会賞業績賞および JIA 環境建築賞優秀賞受賞（求道学舎リノベーション・保存再生事業）。主な著書に、『団地再生まちづくり 4』水曜社（2015、共著）、『性能別に考える S 造設計（構法・ディテール）選定マニュアル』エクスナレッジ（2013、共著）など。

小林 秀樹

千葉大学大学院工学研究科 教授

1954 年新潟県生まれ。1977 年東京大学工学部建築学科卒業。1985 年和設計事務所を経て、東京大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了。1987 年建設省建築研究所入所。2002 年千葉大学工学部都市環境システム学科助教授。2003 年千葉大学工学部都市環境システム学科教授。2007 年～現職。主な著書に、『居場所としての住まい』新曜社（2013）、『居住環境整備論』放送大学教育振興会（2012、共著）『スケルトン定借の理論と実践』学芸出版社（2000、共著）、『新・集合住宅の時代』日本放送出版協会（1997）『集住のなわばり学』彰国社（1992）など。

■申込方法：ホームページまたは FAX でお申し込みください。（1 月 4 日から受付開始）

住総研 HP（http://www.jusoken.or.jp/symposium/jusokensympo_44.html）

■申込締切：2 月 29 日（月）定員 見学会 20 名 講演会 100 名（共に先着順）

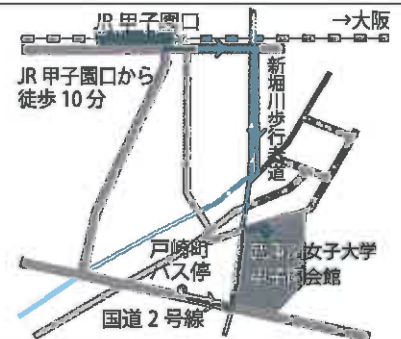
■見学会の集合場所など詳細については、ご参加いただける方にご連絡いたします。

■お問い合わせ

一般財団法人 住総研 e-mail:sympo@jusoken.or.jp

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 4-29-8 TEL:03-3484-5381/FAX:03-3484-5794

このシンポジウムは継続職能研修（建築士会 CPD）認定プログラム（3 単位申請中）です。



参加申込み

締切 2 月 29 日（月）

見学会

講演会

（参加を希望するものに☑を記入してください）

ふりがな
お名前

ご所属（一般 学生）

ご連絡先（ご所属 ご自宅）

（〒 - ）

e-mail アドレス

TEL

FAX

住総研 FAX：03-3484-5794